

10月12日（月）全校朝会

先週の水曜日、4年生の遠足に行ってきました。その遠足で、宝物を見てきましたので今日はそのお話をします。

その宝とは、こちらです。



これは深大寺にある「銅造釈迦如来像(どうそうしゃかによらいぞう)」通称白鳳仏(はくほうぶつ)と呼ばれるものです。

この仏像は今から1300年ほど前に作られたもので、世界の文化から見ても、特に価値が高いため、私たち日本国民の宝にふさわしい、ということで国の宝「国宝」に指定されているのです。国の宝が北ノ台小学校のすぐそばにあるなんてすごいですよね。国宝を遠足で見に行ける学校なんてそうそうないと思いますよ。ちなみに、東京都にある国宝の仏像は深大寺の白鳳仏を含めて、2つだけなのです。益々すごさを感じますよね。

さて、皆さんにはこの白鳳仏のお顔、どのようなお顔に見えますか。

- 笑っているように見えるという人
- 怒っているように見えるという人
- 悲しんでいるように見える人

どのように見えたでしょうか。4年生の遠足のときに深大寺のお坊さんが次のようなお話をしてくれました。「この白鳳仏は、鏡と同じなのです。皆さんの今の心のありようが映し出されてそう見えるのですよ。」



ですから、笑っているように見えるといった人の心の中は、明るく楽しい気持ちなのかもしれません。怒っているように見えた人は、何か腹を立てていることがあったのでしょうか。悲しんでいるように見えた人は、辛いことや寂しい思いをしているのかもしれません。そのときの気持ちによって見え方が変わるなんて不思議ですね。

この国宝「白鳳仏」は、北ノ台小学校から歩いて見に行くことができますから、ぜひおうちの人と見に行ってみてください。その時、白鳳仏のお顔がどのように見えるか、確かめてみてくださいね。一緒に見たおうちの人が、どのように感じるのかもちょっと気になりますね。

今日は、4年生の遠足に行ったときに見てきた、国の宝「国宝」銅像釈迦如来像(白鳳仏)についての話をしました。お話を終わります。気を付け、礼